

電解電子機能水

世界における電解電子機能水の活躍

一般社団法人 地球環境改革再生機構 代表理事 太田雄一

●メキシコではロペス・オブラドール大統領が ECOMIZER を用いた電解電子機能水農法に興味を示しており、近々、大統領を交えた会議が開かれる予定となっています。

国の基本方針として「電解電子機能水を使用する」という事になるかも分かります。



メキシコ合衆国
ロペス・オブラドール大統領

●メキシコにおけるコロナウイルスの患者死者率は他国に比べて極めて高くなっています。(六〇万六千人/六万五千人)約一〇・七%は世界の平均の三倍以上という事となります。

本機構の提案する Biomizer が工つた新型コロナウイルス(COVID-19)の拡大を防ぐ為、大手医療機器メーカーである4Health社から販売される事となりました。

先日、そのプロモーションビデオが出来ましたので本機構のホームページ(<https://global-er.net/>)にて本載せておきました。

日本語字幕を入れておりますので興味のある方はご覧下さい。



電解電子機能水は化学品を使わずに、99.99%のウイルス・バクテリア・カビを殺します。

4Health 社による酸性電解電子機能水 (Biomizer) による COVID-19 の効果的予防の提案。



★メキシコにおける COVID-19 の高い死亡率の背景には慢性糖尿病患者それも重症者が人口の二割、一千二百万人存在している事があげられています。

私達の ECOMIZER/Biomizer はこうした治療の第一線で用いられ大きな治療効果を示しています。

現在、臨床データを取るための作業が行われていますので近い将来大きな一歩がしるされるかも分かりません。



治療開始前の写真

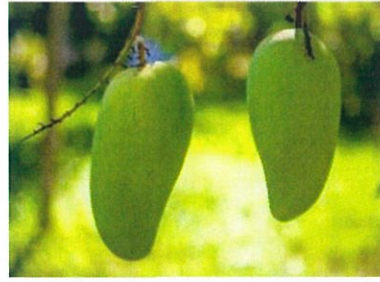


酸性およびアルカリ性電解電子機能水による治療、5回/日とpH 11.0のアルカリ性水飲用治療の併用

●インドでは電解電子機能水を用いてマンゴーが生産されています。

もちろん無農薬栽培です。このマンゴーが日本の豊洲市場に入り、日本市場に流れる事が決まりました。日本市場初登場です。

やっとそんな時代がやってきました。



日本ではあまり馴染みのないインド産マンゴー、実はインドが生産量世界 No1、まもなく日本にお目見えです。(写真はイメージ)

●カンボジアではECOMIZERをCOVID-19の防疫用として用いています。

ECOMIZER を用いた目的として使用しているのは中国とカンボジアです。

このたび三十の大きな学校でECOMIZERを校内防疫用として正式に採用し、子供たちの安全を守ることとなりました。



カンボジアで大型散布機による電解電子機能水の市内散布。(人畜無害なので人がいても安全・安心)



カンボジア (プノンペン) のAEONでは、野菜売り場の真ん中で電解電子機能水が野菜の農薬除去剤として販売されています。

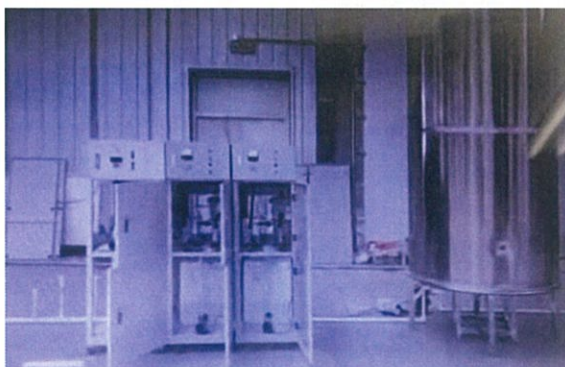
カンボジアでは新型コロナウイルスの総感染者数は二七三人で死亡者は0です。(人口は約千七百万人です。)

河北省の食用菊

色が黄色なのでアブラムシに好まれて良く集まります。今回菊が咲き始めた段階にアルカリ性電解電子機能水を撒いているところです。非常にアブラムシの防虫に効果は得ることが出来ました。



●中国では山西省に農業実験地が新しく設けられ(四万六千ヘクタール)大規模プロモーションエリアが来年からスタートする事となりました。
主として漢方薬やトマト、唐辛子、山椒などの特殊な産物が生産されます。また、河北省では、食用菊、イチゴ、日本ではあまり馴染みのない高カルシウム菜が電解電子機能水で栽培され、高い収穫高を上げています。(左写真)



中国で COVID-19 対策用の製造ラインに設置されている SARES 型電解電子機能水生成装置



日本ではあまり馴染みのない高カルシウム菜、東南アジアの品種です。成長期にアルカリ性電解電子機能水を散布しています。目的は病気と虫の防止で、とても効果的です。

●中国での COVID-19 対策用のプロジェクトも予定通り確実に進んでおり近々その姿を皆様にお見せ出来るものと思います。このように世界各地でタケノコがニョキニョキ地上に顔を出してくるように、電解電子機能水技術はその能力を世界中で示してきています。